

## 所 信 表 明 の 概 要

世界保健機関（WHO）は2020年、新型コロナウイルス感染症について、世界的な感染拡大の状況、重症度などから同年3月11日、新型コロナウイルス感染症をパンデミックと表明し、世界規模で大混乱となりました。

ここ多摩市議会としても、その煽りを受け、議会の運営をはじめ、市民の方々との交流や取組みなど、大きく変わらざるを得ませんでした。

議会運営においては、オンライン協議など様々な工夫で対応し、また災害対策連絡会を立上げ、市側と議会が絶えず連携を取り合ったことに関しては、大変に有効であったと思われま

しかしながら、議会報告会をはじめ、市民の方々との意見交換や交流などの取組みにおいては皆無となり、議会との距離も遠くなったと思っております。

基本的なことではありますが、地方議員は身近でなければなりません。市民の方々の中に入り直接に意見を伺う、現場を見ることが大事であります。

正副議長においても単なる挨拶だけでなく率先して意見を伺い各委員会や行政に繋げる取組みの強化が必要と思われま

議会基本条例にあるよう、「市民とともに考え、行動する議会（議会への市民参画）（情報共有と市民意見の把握）」とあります。コロナ禍で出来なかったことを率先して行ってまいります。

時代に即した取組みも必要です。コロナ禍で行っていたオンラインでの協議や市民交流、また視察に準ずる調査活動も可能です。効果・効率を考慮すべきです。

更には、ホームページやSNSでの情報発信について、わかりやすさや魅力のある内容の強化とともに、アンケート調査や市民意見の受付なども検討が必要と思われま

多摩市議会の特徴として、党派・会派の境無く、協力し合えることについては、しっかり行ってきた経緯があります。議会報告会、またそのチラシ配りや、有志であります

他自治体からすると、中々出来ないと伺いました。そのような取組みについては、率先して行うべきです。それには情報の共有と議員同士の話し合い・協議が必要です。協議する機会を率先して作る決意であります。

その様な協調と協力が二元代表制の一翼を担う大きな力となります。

これからの多摩市の課題は山積みです。新庁舎の建替えをはじめとする施設の更新。防災・減災など安心、安全の問題。不登校などの教育問題。少子化、高齢化、子育てや介護・医療など。直近では物価の高騰の問題も深刻です。

一つ一つではありますが、代表者、委員会、議員の皆様と連携を図りながら、議会として何が出来るのか、どうすれば良いのか、市民目線で絶えず考え行動する決意です。

また、議会改革においても、先程申し上げたデジタルなど時代に即した取り組みや、議員から出たご意見をもとに皆様とともに協議し出来る限りの努力をしてみたいです。

終わりに、議会基本条例にあるよう、公平公正な議会運営と議会全体の代表者として中立性のある活動を誓い、簡単ではありますが所信表明いたします。